

令和4年7月1日

市政記者各位

福岡市総務企画局企画調整部
福岡地域戦略推進協議会

福岡市実証実験フルサポート事業

IoT を活用した“ため池の常時モニタリング”

「浸水検知システムによる危機管理」実証実験開始

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しております。

この度、「浸水検知システムによる危機管理」として採択した実証実験が下記のとおり開始されますので、お知らせいたします。

なお、このプロジェクトは、豪雨発生時の、ため池等管理者の現地確認の危険回避や、リアルタイムでの情報収集による避難判断の迅速化につながるものであることから、採択に至ったものです。

記

1 事業者

東亜建設技術株式会社（本社：福岡市）



2 実証実験の内容

(1) 概要

浸水センサーを活用し、ため池の浸水状況を遠隔・リアルタイムで把握する浸水検知システムについて、現場での適切な運用環境や技術的課題の検証を行う。

(2) 実施場所

高見池（福岡市東区高美台2丁目）

虚空蔵池（福岡市西区大字飯盛）

(3) 期間

令和4年7月～令和4年10月末 ※予定



浸水センサー設置イメージ

【お問い合わせ先】

福岡市総務企画局企画調整部

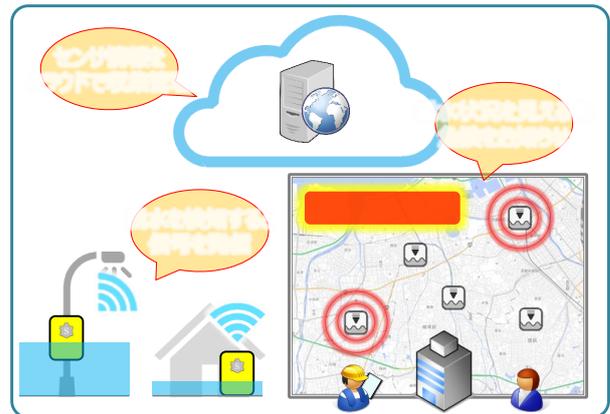
担当：木崎、大藪 電話：092-711-4879（内線1219）



2022年7月1日
東亜建設技術株式会社

『浸水検知システムによる危機管理の有効性検証』 の実証実験を開始しました。

東亜建設技術株式会社は、「浸水検知システムによる危機管理の有効性検証」の実証実験を開始しました。なお、同実証実験は「福岡市実証実験フルサポート事業」に採択されたプロジェクトとして実施するものです。



■ 実証実験の概要

豪雨発生時等、非常時における適切な状況把握を可能とし、避難判断の迅速化等を目指すため、IoT機器を活用し、浸水状況を遠隔・リアルタイムで把握する浸水検知システムについて、ため池現場での適切な運用環境や技術的課題の検証を行います。

■ 防災 DX ソリューション「浸水検知システム」の概要

「浸水検知システム」とは、LTE ネットワーク対応の通信機器を内蔵した低コストかつ小型な浸水検知センサを、河川やため池、用水路、アンダーパス等に設置することで、浸水状況のクラウド上での収集管理を可能とする Web アプリケーションシステムです。

センサが浸水を検知した際は、地図機能（GIS）を有した浸水検知システムの画面上で警告が表示されるため、浸水状況が位置情報とともに見える化されます。

この情報をメールや LINE 通知等により防災担当者や施設管理者に周知することで、適切な避難判断と住民の方々の円滑な避難行動につながるものです。

機器の導入コストを抑えることで多くの箇所へ設置することができるため、面的な状況把握を実現します。

浸水検知センサ



■ 当リリースに関するお問い合わせ先

会社名：東亜建設技術株式会社

担当者：奥園 剛

所在地：福岡市西区西の丘 1 丁目 7-1

e-mail : okuzono@toa-ct.co.jp